

# 愛着高め生産性向上

食品経営者  
フォーラム 嶋谷アイマム社長



嶋谷光洋氏

25日に開催された日本食糧新聞社主催の食品経営者フォーラム7

月定例会では、アイマムの嶋谷光洋代表取締役社長が、令和新時代の働き方改革と新経営者視点を探る「インスピレーションがわくチーム作り」のテーマで講演し「経営指標に、愛着があるなどのエンゲージメントをしっかりとらえるべき。従業員にエンゲージメント診断を行うと、欠勤率、安全に関する事故、離職人数などにも差が出て、業績評価指標にも十分なる」と語った。

嶋谷氏は、働き方改

革が叫ばれる中、日本の生産年齢人口は30年間で29%減少し、労働生産性が低いとされる日本には、まだまだ生産性が向上する伸びしろがあると指摘。

従業員のエンゲージメントを高めることは生産性の向上につながり、その生産性向上には①共通目的②貢献意欲③コミュニケーション——以上の三つがポイントだとした上で「生産性向上を目指すに従業員エンゲージメントを高めた次に、顧客とのエンゲージメントを高めて未来を作っていくべき」と強調。

嶋谷氏は、従業員が楽しく仕事をしなければ、顧客の幸せにもつながらず、企業は、対話を重視し経営を行っていく必要があるとまとめた。(阿久津裕史)

# 日本食糧新聞